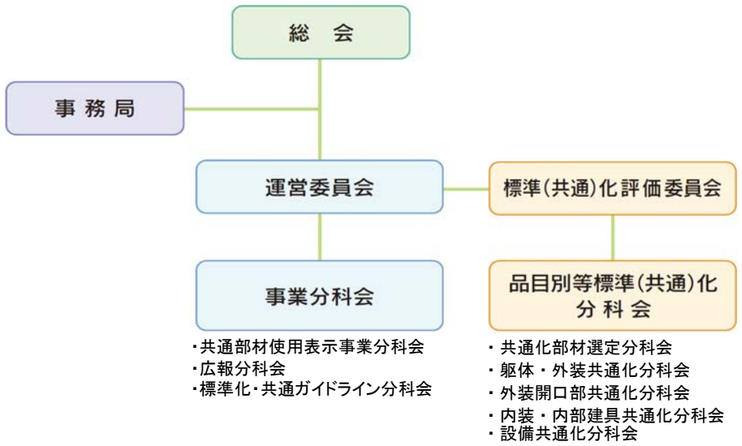
運営組織



参加企業　（50音順）

正会員　　27社

●旭化成ホームズ株式会社
●クリナップ株式会社
●ケイミュー株式会社
●三協立山株式会社
●サンヨーホームズ株式会社
●三和シヤッター工業株式会社
●住友林業株式会社
●積水化学工業株式会社
●積水ハウス株式会社
●株式会社ダイケン
●大成建設ハウジング株式会社
●大和ハウス工業株式会社
●タカラスタンダード株式会社
●ＴＯＴＯ株式会社
●トクラス株式会社
●トヨタホーム株式会社
●パナホーム株式会社
●フクビ化学工業株式会社
●不二サッシ株式会社
●文化シヤッター株式会社
●ミサワホーム株式会社
●三井ホーム株式会社
●株式会社ﾔﾏﾀﾞ・ｴｽﾊﾟｲｴﾙﾎｰﾑ
●吉川化成株式会社
●株式会社ＬＩＸＩＬ
●利高工業株式会社
●ＹＫＫ　ＡＰ株式会社

賛助会員　　31社

●アトムリビンテック株式会社
●株式会社岩福セラミックス
●株式会社ウエスト
●株式会社ウッドワン
●株式会社太田製作所
●家研販売株式会社
●株式会社神仲
●株式会社川口技研
●河淳株式会社
●近畿セラミックス株式会社
●ケージーパルテック株式会社
●株式会社コンサルテック社
●三州野安株式会社
●新東株式会社
●スガツネ工業株式会社
●住友林業クレスト株式会社
●株式会社テンサン
●株式会社鶴弥
●株式会社長沢製作所
●中西金属工業株式会社
●株式会社ニシムラ
●株式会社ベスト
●マツ六株式会社
●丸栄陶業株式会社
●マルスギ株式会社
●株式会社丸惣
●株式会社ムラコシ精工
●株式会社ライズ
●若井産業株式会社
●株式会社屋根技術研究所
●安田株式会社

長期使用住宅部材標準化推進協議会
http://www.chojukyo.jp
問い合わせ窓口
ミサワホーム株式会社
長期使用住宅部材標準化推進協議会事務局
電話：03-3349-8027　　E-mail：cjk@chojukyo.jp
１０時～１７時　　定休日：土・日・祝日

2015　5

長住協

長住協は「長寿命住宅の基盤作り」を部材の標準(共通)化を通じて推進してまいります

当協議会は、経済産業省の研究会の提言に基づき住宅部品・部材の標準(共通)化の推進団体として設立され、大手住宅メーカー・建材メーカー・住宅設備機器メーカーが一堂に会し、住宅を長く住み継ぐ為に不可欠なメンテナンスを容易にする為、住宅部材の標準(共通)化を推進する事を目的として活動しております

平成２７年５月

長期使用住宅部材標準化推進協議会

会長挨拶

当協議会は、経済産業省の提言に基づき住宅部品・部材の標準化推進団体として平成20年7月に設立され、6年が経過し第四期を迎えることとなりました。活動主旨に賛同いただいた会員企業数も50社を超え、長期使用対応部材（CjK部材）も30品目余りを登録してまいりました。

ストック型社会への転換が図られようとしている今、適切に維持管理された住宅が長く住み継がれることが重要となってきます。

住宅を長く住み継ぐ為にはメンテナンスが不可欠であり、メンテナンス用交換部品が長期的に確保される必要性があります。

当協議会は、住宅メーカー、住宅設備メーカー、建材メーカー等の先駆的企業が参画し、部品・部材の標準化・共通化を行う事で、長期にわたってメンテナンスが容易に行えるようにすることを目的として活動しております。

CjKマーク（長期使用対応部材のシンボルマーク）を表示した製品も徐々に作られ始めています。CjKマーク表示製品を多く市場に流通させ、住宅メーカーが積極的に採用することにより普及促進を図っていきたいと考えております。

地道な活動ではありますが、この活動を継続することにより、住まい手にご満足いただくことはもちろんですが、住宅メーカー、設備・建材メーカーにとっても生産・流通・販売などコスト削減にも繋げていけるものと考えます。 その為には住宅関連業界団体並びにDIY業界団体等との連携も進めてまいりたいと思います。

経済産業省、会員各位におかれましては、協議会の活動がますます活発化し、より豊な住生活の実現に役立てられるよう、引き続き当協議会活動へのご支援とご協力を賜わりますよう、よろしくお願い申し上げます。

長期使用住宅部材標準化推進協議会
会長　平田　俊次

長住協への期待

欧米では、住宅を長きにわたって必要な時期に手入れを行い、次の世代に住み継ぐというスタイルが定着し、ストック社会の形成に大きく寄与しています。わが国においても政府として、質の高い住宅ストックの形成を図るための取り組みを進めております。

住宅の長期使用には、住まい手の要望に応えるリフォームやメンテナンスが欠かせません。わが国の住宅では、住宅部品の修理・交換を行う際に、交換部品が標準化されていないことから、対象となる部品を含んだ全体を取替えるケースもあり、消費者、メーカー、そして社会にとっても非効率な状況となっています。

こうした中、住宅の長寿命化に当たって必要な住宅部材の互換性やメンテナンス性の確保のための環境整備に係る住宅メーカー、住宅設備メーカー、建材メーカー等の先駆的な企業による貴協議会の活動は、時代の要請にかなう大変有意義な取組みであると考えております。

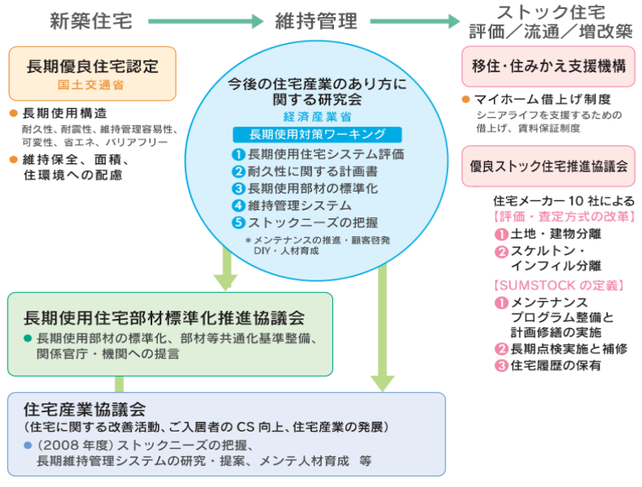
平成23年10月の運用開始以降、「長期使用対応部材」について、部材の寸法などの標準化が着々と進められ、具体的な成果が出てきております。今後はより広い関係者の参加のもと、標準化された部材の流通普及を見据えたＤＩＹ業界との連携を始め、関係業界に幅広く認知され、深く浸透していくことが重要であり、将来の部品・部材の交換の場面で大いに効果を発揮し、「長く住み継ぐ文化」形成の一助となるよう期待するものです。

本協議会の活動が、消費者のメリット、住宅部材の長期使用対応の早期実現及び、リフォーム需要の拡大に寄与することで、住宅、建材・住宅設備関連各社の持続的な発展につながりますよう、心より祈念いたします。

経済産業省製造産業局
住宅産業窯業建材課長
寺家　克昌

事業内容

①「長期使用対応部材(CjK部材)」の仕様の標準化事業
② 部材等共通化基準整備事業
③ 長期使用に対応した部材に関する調査研究事業
④ 関係官庁、機関等への提言及び関係団体並びに研究機関等との連携
⑤ その他、本会の目的を達成するために必要な事業



登録部材

長期使用対応部材(CjK部材)は、長期にわたってメンテナンスを容易にする為に互換性を持たせた部品・部材です。長期使用住宅部材標準化推進協議会では、住宅部材の標準(共通)化に向けた調査・研究を行い検討した結果平成26年7月現在以下の33品目の登録を行いました。

1．住宅用アルミサッシのクレセント
2．住宅用アルミサッシの戸車
3．玄関ドア錠（箱錠）
4．玄関ドア錠（空錠）
5．内部建具　引き戸用戸車／レール
6．キッチン・洗面化粧台用スライド丁番
7．キッチン用台付きシングル湯水混合水栓
8．平形屋根用スレート
9．ドアクローザー
10．内部建具 レバーハンドルケース錠
11．住宅アルミサッシ網戸用モヘア
12．住宅アルミサッシ網戸用網押さえゴム（突起有）
13．住宅アルミサッシ網戸用網押さえゴム（突起無）
14．階段・廊下手すり
15．内部建具調整機能付き丁番
16．粘土瓦（Ｆ形桟がわら）
17．雨戸パネル用戸車（レールタイプ）
18．住宅用アルミサッシ縦すべり出し窓用カムラッチハンドル
19．住宅用アルミサッシ横すべり出し窓用カムラッチハンドル
20．固定式床下収納庫
21．太陽光発電設置用支持瓦（Ｆ形桟がわら）
22．シャッターガイドレール部モヘア（フィンシール無）
23．シャッターガイドレール部モヘア（フィンシール付）
24．住宅金属製バルコニー用連結形デッキ材（樹脂製）
25．床下点検口
26．住宅用引違いサッシ網戸用戸車
27．階段・廊下手すりブラケット
28．太陽光発電架台金具支持材（支持瓦）
29．住宅用樹脂複合サッシ用軟質グレイジングチャンネル
30．可動棚用ダボ
31．折戸用センター丁番（内装建具）
32．温水洗浄便座（シート形）
33．窯業系サイディング（さね有り）
34．内部建具 洋開き戸（扉厚）
35．可動ブラケット用棚柱
36．棚柱用可動ブラケット
37．暖房便座（シート形）
38．外部換気口部品
39．サッシ用網戸の網（合成樹脂）
40．雨戸パネル用落し錠（レールタイプ）
41．住宅用上げ下げ窓のクレセント
42．勝手口ドアクローザー（水平面取付け）
43．勝手口ドアクローザー（垂直面取付け）
44．内部建具 折戸用建具（木製）吊金具
45．内部建具 折戸用建具（木製）吊金具（アウトセット）
46．ビルトイン用IHクッキングヒーター
47．ビルトイン用ガスコンロ

※基準書は長住協のホームページ（URL　http://www.chojukyo.jp/）にて参照可能です。

CjKマークの利用方法

長期使用対応部材(CjK部材)に対してCjKマーク(以下マーク)を使用する際は、マークの利用申請を行い「マーク利用許諾証」を交付される必要があります。マークの利用申請は長住協の正会員、または賛助会員に限り可能です。

販売促進ツール(カタログ・パンフレット・取扱説明書等)にCjK部材を使用している旨の表示を本協議会会員以外でも行なうことができます。ただし、マークによる表示は本協議会会員に限ります。